

令和８年度 市長との対話集会（内外海地区） 議事要旨

日 時：令和８年９月１１日（金）１９時００分～２０時４０分

場 所：内外海コミュニティセンター

参加者：３２名

テーマ：「サバ缶、宇宙へ行く」のその先へ ～小浜の挑戦から考える学びとブランドづくり～

１ 参加者からの主な意見

（１）交通インフラ

- ・阿納尻西小川線トンネルや取り付け道路を通学路として利用する児童・生徒の安全確保のため、歩道の設置が必要。
- ・新幹線開業による観光客の動線や地域住民の生活ニーズに合わせ、あいあいバスの運行時刻や駐車場所の見直しを行う。

（２）観光・地域活性化

- ・矢代のＳＵＰ体験やプライベート感のある景観など、地域ごとに異なる特色を繋ぎ合わせ、地区全体をテーマパークに見立てた滞在型観光を推進。
- ・エンゼルラインを活用したヒルクライムなどのイベントを開催し、地域の魅力を発信する。
- ・YouTuberなどを活用したＳＮＳ発信を行うとともに、並行してバズった（観光客が急増した）際の受け入れ態勢の整備が必要。

（３）教育・定住促進

- ・福井県立大学の学生のパワーを活かして、地域の祭りへの参加や小中学生との交流を深める。また、甲ヶ崎に学生用マンションを建設（１階にコンビニを誘致しバイト先を確保）し若者の定住を促す。
- ・空き家を活用し、不登校の子どもたちを受け入れる施設や、魚のさばき方など地域の食を学ぶ「寿司の学校」のような体験型教育施設を整備する。

（４）産業・雇用

- ・若者が定住、帰郷できるよう、産業団地の整備や水産関係企業の誘致を進める。
- ・漁業、農業等の後継者不足や繁忙期の人手不足解消のため、ハイシーズンに若者（学生など）が手伝える「アルバイト登録制度」を構築できると良い。

２ 市長からの主な回答

（１）交通インフラ・生活環境

- ・阿納尻西小川線トンネルや取り付け道路の歩道整備（通学路の安全性）については、担当部局に共有し、現場確認も行いながら対応を検討していく。
- ・あいあいバスの運行、停車バスの見直しについては、生活交通の確保と観光地へのアクセス向上の両面からニーズを把握し、全体的な再構築を検討していく。

（２）観光・地域活性化

- ・内外海地区全体を「海を利用したテーマパーク」とする構想は面白い。各集落の資源（ＳＵＰ・

景観・食など）をマッピングして繋ぐ広域的な観光戦略は効果的である。

- ・エンゼルラインの活用や YouTuber を起用した発信については、「御食国」等の地域ブランドを活かし「ターゲットにどう伝わるか」を重視した PR 戦略と、受入れ態勢の整備をセットで検討していく。

(3) 教育・定住促進

- ・福井県立大学の学生等の地域活動（祭りへの参加、子どもたちへの学習支援など）が、大学の単位取得に繋がるような連携の仕組みができれば面白い。
- ・若者をターゲットとした自然体験は将来的な Uターン、定住の動機付けに直結するため、空き家の活用と組み合わせた「寿司の学校」などの体験型教育プログラムは効果的である。

(4) 産業・雇用

- ・若者が働ける場の創出に向けて、地域の特性（二拠点生活やワーケーションなど）に合致した、多様な働き方に対応する企業の誘致を検討していきたい。
- ・繁忙期の「アルバイト登録制度」の構築については、学生の労働力確保と関係人口創出の観点から非常に現実的かつ有効な提案であり、ぜひ取り組んでほしい。